



監 内 第 58 号

令和 5 年 3 月 24 日

伊東市長 小野 達也 様

伊東市監査委員 杉 山 雅 男

伊東市監査委員 井 戸 清 司

令和 4 年度第 2 回及び第 3 回定期監査等の結果に関する報告について（提出）

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 199 条第 4 項の規定に基づき令和 4 年度第 2 回及び第 3 回定期監査等を行ったので、その結果に関する報告を同条第 9 項の規定により次のとおり提出します。

第 1 監査の基準

この監査は、伊東市監査基準（令和 2 年伊東市監査委員告示第 2 号）に基づいて実施した。

第 2 監査の種類

定期監査

第 3 監査の期間

第 2 回 令和 4 年 11 月 9 日から令和 5 年 3 月 23 日まで

第 3 回 令和 4 年 12 月 9 日から令和 5 年 3 月 23 日まで

第 4 監査の対象

1 本監査対象部課（局）

(1) 第 2 回

部課（局）名		実施日
企 画 部	秘 書 課	令和 5 年 1 月 11 日
総 務 部	庶 務 課	令和 5 年 1 月 11 日
健 康 福 祉 部	高 齢 者 福 祉 課	令和 5 年 1 月 11 日
	子 育 て 支 援 課	令和 5 年 1 月 11 日
建 設 部	建 設 課	令和 5 年 1 月 12 日
会 計 課		令和 5 年 1 月 12 日
選挙管理委員会事務局		令和 5 年 1 月 11 日

(2) 第 3 回

部課（局）名		実施日
企 画 部	企 画 課	令和 5 年 2 月 7 日
総 務 部	財 政 課	令和 5 年 2 月 7 日
市 民 部	市 民 課	令和 5 年 2 月 8 日
観 光 経 済 部	産 業 課	令和 5 年 2 月 7 日
上 下 水 道 部	水 道 課	令和 5 年 2 月 8 日
教 育 部	教 育 指 導 課	令和 5 年 2 月 8 日
	幼 児 教 育 課	令和 5 年 2 月 8 日
農業委員会事務局		令和 5 年 2 月 7 日

2 書類監査対象課（事務所・局）

全課（事務所・局）

第 5 監査の範囲

第 2 回は令和 4 年 4 月 1 日から令和 4 年 10 月 31 日までの間、第 3 回は令和 4 年 4 月 1 日から令和 4 年 11 月 30 日までの間における財務に関する事務の執行及び経営に関する事業の管理

第6 監査の着眼点

- 1 予算の執行は計画的かつ効率的に行われているか。
- 2 事務処理で法令等に違反するものはないか。
- 3 文書の収発、整理及び保存は適切か。
- 4 郵券等金券類の管理が適正に行われているか。
- 5 備品の管理は適正に行われているか。
- 6 その他事務の執行が適正かつ的確に行われているか。

第7 監査の主な実施内容

書類監査で、全課（事務所・局）の監査資料、提出書類等の内容の照合及び分析を行うとともに、本監査対象課（局）においては、主管課長等から説明を聴取し、監査の対象、範囲とした事務事業が、法令に適合し、正確に行われ、最少の経費で最大の効果を上げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めているか否かについての確認を行った。

また、備品については、備品保管簿から数点を抽出し、現物と照合の上、保管状況を確認した。

第8 監査の結果

今回監査をした範囲における事務事業は、おおむね適正に執行されているものと認められた。

軽微な内容等は、監査過程での指導及び通知等にて対応したところであるが、今後とも、的確な判断に基づき事務事業が適正に執行されるよう望むものである。

監査結果の概要は、次のとおりである。

なお、数値等については、特に断りのない限り、第2回は令和4年10月31日現在、第3回は令和4年11月30日現在のものである。収入未済額については、納期未到来分を含んでいるものもある。

※用語解説

指摘事項：法令、条例、規則等に違反しているもののうち特に重大なものなどで特に指摘すべき事項であると認められるもの

指示事項：指摘に該当する事項のうち、その程度が軽微なもの、原因又は経過によりやむを得ない事情があるもの、既に指導したもので是正されていないものその他特に注意すべきものであると認められるもの

意見：組織及び運営の合理化や事務事業の適正化など、検討、改善を要望するもの又は注意を促すもの

1 書類監査全般に関する事項（各課（事務所・局）共通）

(1) 収入事務について

伊東市会計規則（昭和 63 年伊東市規則第 1 号）第 10 条に基づかない処理が一部に見受けられた。収入については、収入調定者が、まず調定伝票を決裁し、調定通知を会計管理者に送付するとともに、納入通知書兼領収書を納入者に発行することとなっているが、納入通知書兼領収書を先に発行し、事後調定としている処理が多く見受けられた。また、収入原簿の取扱いにおいて、金額が調定伝票と一致していないもの、収入年月日が収入伝票の日付と納入済通知書の金融機関の領収日と混在しているもの、款、節の番号が誤っているものが見受けられた。収入原簿は、収入未済金整理のためにあることを再認識の上、適正な処理をされたい。

(2) 郵券等管理状況について

郵券等の管理状況について確認した課（局）は、庶務課、課税課、収納課、市民課、保険年金課、社会福祉課、高齢者福祉課、子育て支援課、健康推進課、建設課、下水道課、水道課、教育総務課及び選挙管理委員会事務局である。郵便切手管理簿についてはおおむね適正に執行されていた。しかしながら、使用枚数の記入漏れや記入誤りも一部見受けられたことから、郵券等は現金と同様であり、市の財産であることを十分認識し、定期的に残数確認を行うなど、引き続き適正な管理に努められたい。

(3) 備品状況について

備品の出納及び保管については、伊東市物品会計規則（昭和 39 年伊東市規則第 38 号）の規定に従い、おおむね適正な処理がされていた。しかしながら、記入誤り、記入漏れのほか、一部の課においては使用者が異動又は変更したにもかかわらず、備品保管簿に正しく記載されていないものが見受けられたので、現物と備品保管簿との突合を確実に行うことで、適切な管理に努められたい。また、購入からかなりの年数が経過し、耐久性が懸念されるもの、故障等により使用していないもので、廃棄等の処理がされていないものが見受けられたので、現物の確認と並行して精査し、適切に対処されたい。

寄附物品においては、秘書課への報告はしているものの、会計課への報告が行われていないものが散見された。寄附物品を受け入れたときは、寄附物品受入通知書による会計管理者への通知が規定されていることを再確認の上、適切な処理に当たられたい。

施設を有する課においては、施設の備品はもとより、指定管理者等に貸与している備品についても、備品保管簿との突合を怠りなく行われたい。

(4) 出勤簿、年次有給休暇請求書等の取扱いについて

伊東市職員の出勤簿の整理に関する規程（昭和 59 年伊東市訓令甲第 104 号）によらない記載、市外出張した日の出勤簿に押印があるもの、週休日における時間外勤務時の出勤簿への押印漏れが散見され、特別休暇の請求期間にも誤りが見受けられた。特別休暇については原則週休日、休日を含むものであるが、例外もあることから取得要件を休暇ごとに確認し、同規程はもとより、各種休暇等の申請及び取扱いについて（平成 30 年 4 月配布）等に基づいた適切な処理に努められたい。

(5) 時間外勤務命令簿の取扱いについて

時間外勤務命令簿の所属長確認印欄に押印がないものが散見された。更に、会計年度任用職員については月ごとの決裁がなく、時間外勤務命令簿の提出のみとなっているため、所属長が確認することなく支払われていることになる。また、書類に不備があるままでは秘書課による確認がされたものかどうか不明であり、支払漏れや金額誤りが懸念されることから、主管課及び秘書課による二重のチェック体制を強化されるよう努められたい。

(6) 文書の取扱いについて

おおむね適切に処理されていたが、一部不適切なところも見受けられた。

起案文書に施行・完結・廃棄年月日、個別フォルダ一名の未記入及び誤記入のもの、鉛筆による記入、訂正箇所には訂正印が押印されていないもの、簡易決裁兼供覧判を使用した際に決裁・供覧区分の記入のないもの等が散見された。

行政事務において文書は事務処理の基本であるため、改めて伊東市役所文書取扱規程（昭和 36 年伊東市訓令第 3 号）や伊東市の文書事務（令和 3 年 11 月配布）等を確認し、適正な文書処理に努められたい。また、会計年度任用職員の任用条件通知書及び宣誓書兼身元保証契約書の日付の整合性がとれていないものが散見された。会計年度任用職員の取扱いについて（令和 3 年 4 月 1 日施行）に基づいた適切な処

理に努められたい。

(7) 庁用自動車運転日報等の整備について

庁用自動車を保管しているものの、庁用自動車運転日報（以下「運転日報」という。）を整備していない課が見受けられたので、速やかに整備されたい。運転日報を整備している課にあっても、記入誤り、記入漏れが見受けられたほか、伊東市役所庁用自動車管理規程（昭和 41 年伊東市訓令甲第 2 号）に基づく様式を使用していない課が散見された。また、運行前点検表を整備していない課が散見されたほか、酒気帯び確認記録表の時系列に整合性の取れないものが見受けられた。各様式について再確認の上、適正な管理に努められたい。

2 本監査を実施した個々に関する事項

（第 2 回）

企画部

秘書課

(1) 予算執行状況について

ア 歳入

(単位：円・%)

会 計	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					対予算	対調定
一 般 会 計	13,055,000	3,925,207	3,154,342	770,865	24.2	80.4

・収入未済額770,865円は、金融機関等貸付金元利収入740,865円、雑入30,000円である。

イ 歳出

(単位：円・%)

会 計	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
一 般 会 計	1,014,923,000	340,208,663	674,714,337	33.5

(2) 監査所見

ア 指摘及び指示事項

今回の監査では、該当するものは認められなかった。

イ 意見

(ア) 人材確保について

ここ 5 年間の職員数の推移は、次のとおりである。

(各年 4 月 1 日現在)

区 分	平成 30 年	平成 31 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
職員数(人)	600	599	595	589	600

職員の定員適正化を図る中で、職員数についてはここ数年ほぼ横ばいで推移しているが、多種多様な事業の展開に伴う業務量は年々増加しており、市役所全体として人員不足による負担増が見受けられる。令和 4 年 10 月末現在で療養休暇を取得している職員は 37 人となっており、例年より増加傾向にあり、中には心の健康を害している職員も見られる。サービスの維持・向上のためには、職員数の増加による業務負担の軽減が必要と思われることから、様々な職種における職員の増員を図られたい。

特に職員採用試験については、近年技術職の応募がなく再募集する傾向にあるなど、職員採用は困難を極めている。打開策として大学への PR 訪問など新たな対策を計画しているようであるが、年度当初に募集を行っている自治体もある。有資格者を要する職場においては、募集案内の時期を見直すなど改善を図りながら、業務量に見合った適切な職員数が配置されるよう計画的な確保に努められたい。また、障害者雇用に関して市内関係機関と連携することで、少しずつ採用につなげているようだが、今後は障害者職業能力開発校等とも連携することを検討されたい。

(イ) 男性職員の育児休業について

国が喫緊の課題として少子化対策に取り組む中で、本市における男性職員の育児休業の取得状況は令和 2 年度に 2 人、令和 3 年度に 1 人、令和 4 年度は 10 月末現在で 1 人、かつ取得期間も月単位となっており、女性職員に比べ極端に低い取得状況となっている。育児・介護休業法（通称）の改正により、育児休業の分割取得等のほか、男性の育児休業取得促進のための枠組みも創設され、令和 4 年 4 月から段階的に施行されている。安心して子育てができるよう男性職員の育児休業についても広く周知し、職場の理解を図り、育児休業が取得しやすい環境づくりがなされるよう望むものである。

(ウ) 時間外勤務命令簿、各種休暇申請書等の確認について

各課（事務所・局）の書類監査をした結果、時間外勤務命令簿における所属長確認欄の押印漏れ及び各種休暇申請書の取得期間誤りが散見された。時間外勤務については、所属長の命令の下になされるものであるが、命令なく勤務している状態となっている上、誤支給が発生するおそれがある。また、各種休暇申請書等においては、取得期間の誤りにより本来取得できる日数が得られていなかったり、逆に必要以上に取得しているケースが見られた。取得期間の誤りは職員によっては欠勤につながる事態になりかねない。いずれも主管課で確認を行うのは当然のことではあるが、提出を求めている以上、貴課においてもチェックし、必要に応じて主管課に訂正を求めるべき事項である。時間外勤務手当の誤支給や欠勤につながることをないよう貴課におけるチェック体制の強化を図るとともに、各課（事務所・局）への指導に努められたい。

総務部

庶務課

(1) 予算執行状況について

ア 歳入

(単位：円・%)

会 計	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					対予算	対調定
一 般 会 計	4,272,000	2,372,008	2,172,008	200,000	50.8	91.6

・収入未済額200,000円は、全額雑入である。

イ 歳出

(単位：円・%)

会 計		予算現額	支出済額	予算残額	執行率
一 般 会 計	現 年 度 A	202,974,000	92,381,302	110,592,698	45.5
	繰越明許B	7,000,000	5,181,789	1,818,211	74.0
	A + B	209,974,000	97,563,091	112,410,909	46.5

(2) 施設について

庶務課で所管する施設は、直接管理であり、委託に係る支出済額は、次のとおりである。

施 設 名	支出済額（円）
庁 舎	35,469,813

修繕料については、7,637,361 円を支出している。

(3) 監査所見

ア 指摘及び指示事項

今回の監査では、該当するものは認められなかった。

イ 意見

(ア) 文書管理について

永年保存文書に関してはマイクロフィルム化及び電子化を推進することで、年々増加する文書の抑制に努めている。今年度は保存文書庫として活用していた旧法務局の県への施設移譲に伴い、旧法務局内に保管していた文書を本庁の保存文書庫に移動した結果、保存文書庫の現在の空きスペースは保存箱にして240箱分となり、永年保存文書の蓄積による将来的な保管場所の不足が懸念される。ファイリングシステムの本質である保存文書の精査を行い、デジタル化の推進を図るとともに、安全対策にも配慮した新たな保管場所の調査及び研究に努められたい。

(イ) 郵便切手受払簿及び郵便切手管理簿について

郵便切手受払簿及び郵便切手管理簿については、伊東市役所文書取扱規程にて様式が定められているところであるが、現行の様式では複数の金種を組み合わせ使用した場合など、同一用紙に複数の金種を記載するか、金種ごとに記載を分ける等の必要があり、在庫数が把握しにくいものとなっている。書類監査において各課（局）の管理状況を確認したところ、規定の様式が使用されておらず、独自の様式で管理している課が散見された。切手類は換金性が高く、盗難・紛失等の事故につながりやすい要素があり、現金と同様に厳重な管理が求められる。保管状況や在庫数等の確実な把握のためにも、郵便切手受払簿及び郵便切手管理簿の様式について見直しを図られたい。

健康福祉部

高齢者福祉課

(1) 予算執行状況について

ア 歳入

(単位：円・%)

会 計	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					対予算	対調定
一 般 会 計	194,229,000	115,147,414	113,523,374	1,624,040	58.4	98.6
介護保険事業 特 別 会 計	8,840,000,000	5,136,765,964	4,221,447,644	915,318,320	47.8	82.2

- ・一般会計の収入未済額1,624,040円は、老人ホーム措置入所者負担金83,040円、老人ホーム入所者負担金1,541,000円である。
- ・介護保険事業特別会計の収入未済額915,318,320円は、第1号被保険者保険料 872,586,670円、滞納繰越分42,731,650円である。

イ 歳出

(単位：円・%)

会 計		予算現額	支出済額	予算残額	執行率
一般会計	現 年 度 A	282,419,000	174,366,839	108,052,161	61.7
	繰越明許 B	18,764,000	10,723,600	8,040,400	57.1
	A + B	301,183,000	185,090,439	116,092,561	61.5
介護保険事業 特 別 会 計		8,840,000,000	4,382,258,421	4,457,741,579	49.6

(2) 施設について

高齢者福祉課で所管する施設のうち、行政財産として管理している施設は全て指定管理者管理であり、施設名等は、次のとおりである。

施 設 名	指定管理者名	指定期間	本年度管理費（円）	支出済額（円）
老 人 憩 の 家 城 ケ 崎 荘	社 会 福 祉 法 人 城ケ崎いこいの里	令和2年4月1日～ 令和7年3月31日	30,970,000	23,227,500
健康福祉センター (健康福祉施設)	社 会 福 祉 法 人 伊東市社会福祉協議会	令和4年4月1日～ 令和9年3月31日	42,284,000	36,984,000
シニアプラザ (湯川・くすみ)	社 会 福 祉 法 人 伊東市社会福祉協議会	令和4年4月1日～ 令和9年3月31日	5,250,000	3,937,500
養護老人ホーム	社 会 福 祉 法 人 十 字 の 園	平成27年4月1日～ 令和7年3月31日	契約書に基 づく算出額	68,108,464
介護老人保健 施設みはらし	公 益 社 団 法 人 地域医療振興協会	平成18年4月1日～ 令和18年3月31日	利用料金制	—

(3) 監査所見

ア 指摘及び指示事項

今回の監査では、該当するものは認められなかった。

イ 意見

(ア) 介護サービスと介護保険料について

本市の高齢化率は、令和 4 年 4 月 1 日現在で、43.3%（65 歳以上の人口 28,899 人）となっている。令和 4 年 9 月末現在の要介護（要支援）認定者数（第 2 号被保険者を含む。）は 5,050 人で、65 歳以上の人口 28,901 人に対する認定率は 17.5%となっている。また、介護サービスの給付費は 10 月末現在 3,771,783,896 円で、前年同期 3,778,190,544 円の 99.8%と減少している。

介護保険制度を維持、運営するための介護保険料（第 1 号被保険者保険料）の収入状況は、次のとおりである。

（単位：円・%）

区 分	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収入率
現 年 度 分	1,758,398,200	885,811,530	872,586,670	50.4
滞納繰越分	48,989,950	6,258,300	42,731,650	12.8
合 計	1,807,388,150	892,069,830	915,318,320	49.4

収入率は 49.4%であり、前年同期 49.2%と比べ 0.2 ポイント増加している。

滞納対策として、65 歳到達者及び転入者に対し、口座振替の利用促進を図るとともに、滞納者については、徴収担当（会計年度任用職員）を雇用し、滞納者の様々な状況に応じて電話及び臨戸訪問等による納付指導、集金等を行っている。また、未納期間のある介護サービス利用者については給付制限を行うことで利用者間の均衡を図るなどの対策も講じられた結果、滞納繰越分の収入率が若干向上している。引き続き、滞納の大きな累積要因である 65 歳到達者及び転入者に対するきめ細やかな周知に努めるとともに、高齢化の進行により保険給付費の増加が見込まれる状況を踏まえ、介護保険制度の運営に必要な安定した収入を確保できるよう、収入率向上を図られたい。

(イ) 介護老人保健施設等の老朽化について

平成 18 年 4 月 1 日に開所した介護老人保健施設みはらしは、整備計画に基づき修繕を行っているようであるが、施設建設から 17 年の経過に伴う老朽化

により、機器の更新や防水対策など様々な要修繕箇所を抱えている。今後も、経年劣化による不具合の増加とともに、多額の維持管理費用を要すると見込まれることから、指定管理者はもとより、財源については財政担当課と協議を行い、優先順位を見極めながら順次対応を図り、利用者が安全にかつ安心して利用できるよう施設整備に努められたい。また、建設から 30 年以上が経過する養護老人ホームについても、繰り返し修繕や改修を行っているところであるが、建て替えには現行の補助制度上、課題があることから引き続き計画的な改修を進め、施設の長寿命化を図られたい。

子育て支援課

(1) 予算執行状況について

ア 歳入

(単位：円・%)

会 計	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					対予算	対調定
一 般 会 計	934,087,000	467,149,027	467,146,997	2,030	50.0	100.0

・収入未済額2,030円は、全額児童発達支援利用者負担金である。

イ 歳出

(単位：円・%)

会 計	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
一 般 会 計	1,729,644,000	957,628,880	772,015,120	55.4

(2) 施設について

子育て支援課で所管する施設は、直接管理と指定管理者管理の 2 通りある。

ア 直接管理している施設の委託に係る支出済額は、次のとおりである。

施 設 名	支出済額 (円)
伊 東 幼 稚 園 湯 川 分 園	124,850
さ く ら 園	143,880

イ 指定管理者管理である施設名等は、次のとおりである。

施 設 名	指定管理者名	指定期間	本年度管理費 (円)	支出済額 (円)
中 央 児 童 館	社 会 福 祉 法 人 城ヶ崎いこいの里	令和 3 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日	14,740,000	11,792,000
玖 須 美 児 童 館				

(3) 監査所見

ア 指摘及び指示事項

今回の監査では、該当するものは認められなかった。

イ 意見

結婚から子育て支援に係る事業について

令和４年度から、結婚新生活に係る経費の負担軽減を図ることで結婚を希望する若者を支援する結婚新生活支援補助金交付事業が開始され、また、不妊治療においても一部保険診療化されたことから、静岡県特定不妊治療費助成制度が終了したことに伴い伊東市不妊等治療費助成金支給事業を拡大されるなど、新規事業や事業拡充を実施し、結婚から子育てまで手厚い事業展開が図られている。様々な支援をする中で課題やニーズは日々変化していくことから、より良い事業が執行できるよう随時企画、提案、見直しを行うとともに、市民はもとより移住を考える子育て世代が目につくような場所にパンフレット等を配架するなど、関連部署とも連携して、積極的な PR 方法を検討し、引き続き子育てしやすい街づくりの環境整備の推進に努められたい。

建設部

建設課

(1) 予算執行状況について

ア 歳入

(単位：円・%)

会 計		予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
一般会計	現年度 A	134,254,000	62,321,987	61,470,871	851,116	45.8	98.6
	事故繰越 B	34,137,000	0	0	0	0.0	-
	A + B	168,391,000	62,321,987	61,470,871	851,116	36.5	98.6

・収入未済額851,116円は、道路占用料710,416円、河川占用料140,700円である。

イ 歳出

(単位：円・%)

会 計		予算現額	支出済額	予算残額	執行率
一般会計	現年度A	945,803,000	274,653,063	671,149,937	29.0
	繰越明許B	53,540,000	40,850,750	12,689,250	76.3
	事故繰越C	70,274,000	0	70,274,000	0.0
	A + B + C	1,069,617,000	315,503,813	754,113,187	29.5

(2) 監査所見

ア 指摘及び指示事項

今回の監査では、該当するものは認められなかった。

イ 意見

(ア) 道路・河川占用料について

道路占用料及び河川占用料の収入状況は、次のとおりである。

(単位：円・%)

区 分		調 定 額	収入済額	収入未済額	収 入 率
現年度分	道路	50,409,190	49,911,698	497,492	99.0
	河川	3,293,100	3,252,150	40,950	98.8
過年度分	道路	214,221	1,297	212,924	0.6
	河川	100,850	1,100	99,750	1.1
合 計	道路	50,623,411	49,912,995	710,416	98.6
	河川	3,393,950	3,253,250	140,700	95.9

滞納者に対しては、受益者負担の原則の下、文書催告及び電話連絡等の実施により収入未済額の解消に努められているが、過年度分の収入率は前年同期と比べ、道路占用料は 14.9 ポイント減の 0.6%、河川占用料は 36.4 ポイント減の 1.1%と大きく減少し厳しい状況である。収入率向上のため、長期滞納者に対する現地調査及び未納者宅への訪問を積極的に実施するなど、収入未済額の圧縮を図られるよう一層努力されたい。

(イ) 災害時における応急対策業務について

現在、災害時における応急対策業務に関する協定、災害時における測量設計

等業務委託に関する協定及び無人航空機による災害応急対策活動（撮影等）に関する協定を関係事業者と締結するなど、災害に向けた対策がとられているところである。近年、県内では水害が多発し、早急の復旧が求められる事例が生じている。また、地震津波等の災害も想定され、危機管理体制における観点から各種協定に基づいた業務の執行により迅速な対応をされるよう望むものである。

会計課

(1) 予算執行状況について

ア 歳入

(単位：円・%)

会 計	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					対予算	対調定
一 般 会 計	876,000	552,625	552,625	0	63.1	100.0

イ 歳出

(単位：円・%)

会 計	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
一 般 会 計	11,438,000	4,184,850	7,253,150	36.6

(2) 監査所見

ア 指摘及び指示事項

今回の監査では、該当するものは認められなかった。

イ 意見

(ア) 指定金融機関の指定について

指定金融機関の指定については、静岡銀行伊東支店及びスルガ銀行伊東支店と折り合いがつかず、三島信用金庫伊東営業部が平成17年度から連続で業務を行っているところであるが、令和4年6月から、市金庫の取扱時間が短縮されている。サービスの低下を招かないように、時間外の収納業務については会計課による対応となったことにより、通常業務と重複し負担が増加している。金融機関側からの派遣手数料及び取扱時間等について折り合いがつかないことから、お互いの条件が合致できるよう、財政担当課とも協議しながら、今後の体制について検討されたい。

(イ) 備品保管簿のデータ化について

備品については、伊東市物品会計規則の規定に基づき、備品保管簿を作成し、物品の出納及び保管状況を管理している。各所管課等においては、エクセルなどのデータに入力しているところであるが、各々の管理になっており、3年ごとに備品保管簿を会計課に提出してはいるものの、会計課が逐一確認するのは難しい状況にある。適正な管理の観点からも統一的な管理が図られるよう、備品管理システムを構築するなどデジタル化に向けた調査研究に努められたい。また、現在の備品シールについては手書きの様式であり、機構改革時における作業の負担は計り知れないことから、パソコンでプリントできるような形態に変更するなど、事務負担を軽減し、作業の効率化が図られるよう検討されたい。

(ウ) 収入原簿の取扱いについて

前述の「1(1)収入事務について」(P3)で述べたように、収入事務については、収入原簿を使用することで、事前に調定されている収入の有無を管理し、収入未済金を整理するものであるが、各課(事務所・局)の書類監査において事前に金額が決定されているものについても事後調定としている処理が多く、収入原簿を備えることの意義を理解していない所管課が多いように見受けられ、形骸化しているように思われる。各課(事務所・局)に収入原簿の取扱方法を改めて周知するとともに、1件の調定に複数の納入が存在する場合もあるため、様式の見直しも含め調査検討されたい。

選挙管理委員会事務局

(1) 予算執行状況について

ア 歳入

(単位：円・%)

会 計	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					対予算	対調定
一般会計	51,346,000	16,679,257	16,679,257	0	32.5	100.0

イ 歳出

(単位：円・%)

会 計	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
一般会計	71,909,000	40,512,598	31,396,402	56.3

(2) 監査所見

ア 指摘及び指示事項

今回の監査では、該当するものは認められなかった。

イ 意見

啓発活動について

啓発活動については、街頭啓発を中心にポスターの掲出及びチラシの配架のほか、市内の高等学校での出前授業や新有権者に啓発冊子を送付するなど、若年層に向けた啓発にも努められている。また、選挙当日には広報車による啓発を行っているところであるが、投票に行くことへの意識を高めるためにも、期日前投票を含め、広報車を使用した事前の広報など、事前周知の時期及び方法について検討されたい。

(第 3 回)

企画部

企画課

(1) 予算執行状況について

ア 歳入

(単位：円・%)

会 計	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					対予算	対調定
一 般 会 計	419,281,000	246,259,000	246,259,000	0	58.7	100.0

イ 歳出

(単位：円・%)

会 計		予算現額	支出済額	予算残額	執行率
一 般 会 計	現 年 度 A	510,983,000	324,551,934	186,431,066	63.5
	繰越明許B	12,207,000	5,925,223	6,281,777	48.5
	A + B	523,190,000	330,477,157	192,712,843	63.2

(2) 監査所見

ア 指摘及び指示事項

今回の監査では、該当するものは認められなかった。

イ 意見

(ア) お試し移住支援事業について

移住定住の促進を図るため、本市への移住を検討し、お試し移住として滞在する人を対象に宿泊費用を補助するお試し移住支援事業補助金は、生活環境の確認とともに本市の魅力を知ってもらう良い機会として、積極的に利用してほしい事業である。近年の人口減少問題は本市においても深刻な問題であることから、移住促進による問題解消が期待される。個別の移住相談や市ホームページ等においても PR を行っているようだが、子育て支援とも連動した情報発信に努めるとともに、移住を検討する人が立ち寄りそうな様々な場所にパンフレット等を配架するなど、周知方法の拡充を図られたい。

(イ) 機構改革について

令和 5 年度実施の機構改革において、現在の所管の分割や新たな課の創設などにより、業務における専門性の確保が図られている。行政の事務分掌は市民の目線から、どの部署でどういった事業を行っているか理解されにくいところがある。市民が理解しやすく、職員が働きやすい職場となるよう、どこで何を所管するべきか常に精査を行い、適正な所管を図られたい。また、大幅な機構改革であるため、市民が戸惑うことのないよう、スムーズな所管の引継ぎがなされるよう望むものである。

総務部

財政課

(1) 予算執行状況について

ア 歳入

(単位：円・%)

会 計		予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
一般会計	現年度 A	10,562,373,000	7,154,226,723	6,763,574,723	390,652,000	64.0	94.5
	繰越明許B	448,925,000	446,025,000	446,025,000	0	99.4	100.0
	A + B	11,011,298,000	7,600,251,723	7,209,599,723	390,652,000	65.5	94.9
土地取得特別会計		57,000,000	43,385,848	43,385,848	0	76.1	100.0

・収入未済額390,652,000円は、地方消費税交付金332,615,000円、ふるさと伊東応援寄附金58,037,000円である。

イ 歳出

(単位：円・%)

会 計		予算現額	支出済額	予算残額	執行率
一般会計	現年度A	8,373,179,000	3,581,436,085	4,791,742,915	42.8
	繰越明許B	7,107,000	1,943,140	5,163,860	27.3
	A + B	8,380,286,000	3,583,379,225	4,796,906,775	42.8
土地取得特別会計		57,000,000	43,316,197	13,683,803	76.0

(2) 監査所見

ア 指摘及び指示事項

今回の監査では、該当するものは認められなかった。

イ 意見

公用車の安全管理について

令和4年11月末時点における公用車の事故は、前年同期に比べ2件減少の13件となっているものの、事故起因の多くは運転者の不注意によるものであり、うち3件は市役所地下公用車駐車場で発生したものである。また、事故報告がされておらず当事者不明となっているものも3件あるが、事故報告がされないなどは論外であり、公用車の運転に対する意識の低さがうかがえる。伊東市役所庁用自動車管理規程の改正により、令和4年4月から酒気帯び確認記録表を新たに整備するとともに、運行前点検表の作成が義務付けられたことから、乗車ごとの点検を確実に行之、安全管理を徹底されたい。

今年度から事故発生の都度、庁内グループウェアを利用した事例報告を行うなど注意喚起を図っているが、公用車を運転しているということを再認識し、交通ルールの遵守はもとより、運転時には細心の注意を払い、事故発生時には軽微なものであろうとも報告を怠ることのないよう、全職員の意識向上と事故防止に努められたい。

市民部

市民課

(1) 予算執行状況について

ア 歳入

(単位：円・%)

会 計		予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
一般会計	現年度 A	63,335,000	21,216,241	21,026,731	189,510	33.2	99.1
	繰越明許B	4,400,000	0	0	0	0.0	-
	A + B	67,735,000	21,216,241	21,026,731	189,510	31.0	99.1
霊園事業特別会計		55,100,000	22,019,668	21,731,448	288,220	39.4	98.7

- ・一般会計の収入未済額189,510円は、総務手数料189,500円、雑入10円である。
- ・霊園事業特別会計の収入未済額288,220円は、全額墓所管理料である。

イ 歳出

(単位：円・%)

会 計		予算現額	支出済額	予算残額	執行率
一般会計	現年度 A	329,766,000	193,740,476	136,025,524	58.8
	繰越明許B	17,200,000	3,597,000	13,603,000	20.9
	A + B	346,966,000	197,337,476	149,628,524	56.9
霊園事業特別会計		55,100,000	26,190,791	28,909,209	47.5

(2) 施設について

市民課で所管する施設は、直接管理と指定管理者管理の2通りある。

ア 直接管理している施設の委託に係る支出済額は、次のとおりである。

施 設 名	支出済額 (円)
斎 場	12,597,349

イ 指定管理者管理である施設名等は、次のとおりである。

施 設 名	指定管理者名	指定期間	本年度管理費 (円)	支出済額 (円)
天 城 霊 園	公益財団法人 伊東市振興公社	平成31年4月1日～ 令和6年3月31日	12,597,000	9,721,000

(3) 監査所見

ア 指摘及び指示事項

今回の監査では、該当するものは認められなかった。

イ 意見

(ア) 個人番号（マイナンバー）事業について

本市における令和４年１０月末現在のマイナンバーカードの交付率は前年同期と比較し、9.4ポイント増の41.4%である。依然として県内では最下位の位置にいるものの、専用端末を使用した窓口でのWEBによる申請サポートや、市内商業施設における出張申請サポートを積極的に行い、マイナポイントの影響も受け、１月末現在の申請率は66.9%に増加するなど、交付率アップに向けて大変努力している。引き続き、マイナンバーカードの活用について広く周知し、カード交付率の更なる上昇に努めるとともに、本庁及び出張所への端末機の増設など、更新時における体制づくりを図られたい。

マイナンバーカードの交付事務に伴う業務量の増加により、職員によっては長時間労働を余儀なくされている状況が見受けられる。一部の職員に負担が偏らないよう業務分担と人員配置の見直しを図るなど、適正な労働時間と健康管理に配慮されるよう望むところである。

(イ) コンビニ交付事業について

平成30年12月に開始した住民票の写し等のコンビニ交付は、利用者の利便性や窓口の分散化により待ち時間の短縮が図られることから、年々交付件数が増加している。更なる利便性の向上及びマイナンバーカードの普及を図るため、令和４年１０月から手数料を100円引き下げたことにより、上半期と比較した10月以降の平均交付件数は47.3%も増加している。

コンビニ交付利用者が増加し、窓口の混雑緩和が図られることにより、サービスのみならず職員の負担軽減にもつながる。今後も、手数料の引下げや利便性の向上についての周知を図り、窓口業務の効率化及び行政サービスのスピードアップに努められたい。

観光経済部

産業課

(1) 予算執行状況について

ア 歳入

(単位：円・%)

会 計	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					対予算	対調定
一 般 会 計	76,372,000	5,704,592	5,704,592	0	7.5	100.0

イ 歳出

(単位：円・%)

会 計		予算現額	支出済額	予算残額	執行率
一般会計	現年度 A	909,822,000	597,396,680	312,425,320	65.7
	繰越明許B	133,853,000	29,864,184	103,988,816	22.3
	A + B	1,043,675,000	627,260,864	416,414,136	60.1

(2) 施設について

産業課で所管する施設は、直接管理と指定管理者管理の 2 通りある。

ア 直接管理している施設の委託に係る支出済額は、次のとおりである。

施 設 名	支出済額 (円)
大 平 の 薨 ^{いらか}	14,056
浜 辺 の 清 水	109,050

イ 指定管理者管理である施設名等は、次のとおりである。

施 設 名	指定管理者名	指定期間	本年度管理費(円)	支出済額 (円)
伊 東 高 等 職 業 訓 練 校	職 業 訓 練 法 人 伊 東 職 業 訓 練 協 会	令和 3 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日	510,000	510,000
シルバーワーク プ ラ ザ	公益社団法人伊東市 シルバー人材センター	令和 3 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日	1,020,000	510,000

(3) 監査所見

ア 指摘及び指示事項

今回の監査では、該当するものは認められなかった。

イ 意見

(ア) いとう市民応援クーポンについて

市内における消費喚起を促し、市内経済の活性化及び消費者の生活支援等を目的とした、いとう市民応援クーポンは 9～10 月の 1 次販売に続き 11 月には 2 次販売を行い、11 月末時点における換金率は 62.6%と、期待していた効果があったものと評価する。利用者及び事業者からアンケートを行ったようであるが、結果を十分に検証し、お互いの利便性を考慮し、今後の事業に活かされるよう望むものである。

(イ) 補助金について

市内商業等の発展及び支援に寄与するため、大小様々な補助事業を展開している。しかしながら、中には長年変更のないまま継続している事業も見受けら

れることから、既存の補助事業については、効果検証に向けた情報を徹底的に分析し、見直しをする中で事業効果の向上を図られるとともに、時代の変化を踏まえた新たなニーズに的確に対応できるよう努められたい。また、補助金の支払は事業完了による金額確定後の通常払が原則であり、概算払及び前金払は例外的な取扱いであることから、執行に際しては支払理由を明確にし、適正な執行時期となるよう留意されたい。

上下水道部

水道課

(1) 予算執行状況について

ア 収入

(単位：円・%)

会 計		予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
水道事業会計	収益的収入	1,627,467,000	949,662,045	906,391,436	43,270,609	55.7	95.4
	資本的収入	291,595,000	16,425,200	16,425,200	0	5.6	100.0

・収益的収入の収入未済額43,270,609円は、全額営業収益である。

イ 支出

(単位：円・%)

会 計		予算現額	支出済額	予算残額	執行率
水道事業会計	収益的支出	1,524,551,000	421,043,469	1,103,507,531	27.6
	資本的支出	1,296,548,000	301,740,653	994,807,347	23.3

(2) 監査所見

ア 指摘及び指示事項

今回の監査では、該当するものは認められなかった。

イ 意見

(ア) 水道料金について

水道料金収入状況は、次のとおりである。

(単位：円・%)

区 分	調 定 額	収入済額	収入未済額	収 入 率
現 年 度 分	925,307,103	882,186,094	43,121,009	95.3
過 年 度 分	55,267,347	38,188,417	17,078,930	69.1
合 計	980,574,450	920,374,511	60,199,939	93.9

収入率は前年同期比 1.2 ポイント増加の 93.9%である。現年度分は 95.3%で、前年同期比 1.2 ポイント増加、過年度分は 69.1%で、前年同期比 1.4 ポイント減少している。令和 4 年度からスマートフォンアプリ決済サービスを導入し、納付方法を拡充することで利便性の良い環境が整えられている一方で、手続の煩雑さにより高齢者の利用者数が伸び悩んでいることから、引き続き利便性の良い納付方法の情報収集に努めるとともに、未納者については料金の督促を行い法的措置も視野に入れた徴収方法を検討しながら、収納率の向上に努められたい。

(イ) 給水管の管網図について

現在、給水管の管網図は電子化され、おおむね正確な図が作成されているところであるが、給水管の埋設の深さが把握できていない箇所や、データ上では分からない技術もあり、工事に支障を来すこともあることから、企業職員から知識を継承し、データに反映させるなど管網図の完成度をより高められるよう望むものである。

教育部

教育指導課

(1) 予算執行状況について

ア 歳入

(単位：円・%)

会 計	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					対予算	対調定
一 般 会 計	1,344,000	1,325,910	1,325,910	0	98.7	100.0

イ 歳出

(単位：円・%)

会 計	予算現額	支出済額	予算残額	執行率
一般会計	148,611,000	82,295,430	66,315,570	55.4

(2) 監査所見

ア 指摘及び指示事項

今回の監査では、該当するものは認められなかった。

イ 意見

通級指導教室について

通常学級の中で特定の分野に関して特別な指導が必要な児童生徒に対し、きめ細かな指導が行われている通級指導教室は、今年度新たに大池小学校を開設し、小中学校合わせて6学級となり、通級指導教室の充実に努めているところである。児童生徒の人数が減少する一方で、就学支援委員会で審議される件数はあまり変わっておらず、通常学級において困り感を抱えた児童生徒が増えてきており、通級指導利用人数は年々増加していることから、個に応じた対応ができるよう教室及び人員の確保並びに人材育成など現状に見合った体制整備に努められたい。

幼児教育課

(1) 予算執行状況について

ア 歳入

(単位：円・%)

会 計	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					対予算	対調定
一般会計	915,625,000	255,537,902	252,946,732	2,591,170	27.6	99.0

・収入未済額2,591,170円は、市立保育所給食費負担金128,500円、私立保育所保育料1,375,470円、市立保育所保育料927,600円、幼稚園保育料159,600円である。

イ 歳出

(単位：円・%)

会 計		予算現額	支出済額	予算残額	執行率
一般会計	現年度A	2,417,235,000	1,410,178,383	1,007,056,617	58.3
	繰越明許B	20,500,000	10,224,127	10,275,873	49.9
	A + B	2,437,735,000	1,420,402,510	1,017,332,490	58.3

(2) 施設について

幼児教育課で所管する施設は、直接管理と指定管理者管理の2通りある。

ア 直接管理している施設の委託に係る支出済額は、次のとおりである。

施設名	支出済額（円）
富士見保育園外 3 園	889,185
伊東幼稚園外 14 園	3,655,732

修繕料については、富士見保育園外 3 園 10,381,717 円、伊東幼稚園外 14 園 3,926,758 円を支出している。

イ 指定管理者管理である施設名等は、次のとおりである。

施設名	指定管理者名	指定期間	本年度管理費（円）	支出済額（円）
八幡野保育園	社会福祉法人 厚生保育会	令和3年4月1日～ 令和8年3月31日	国基準保育単 価による。	84,219,181

(3) 監査所見

ア 指摘及び指示事項

今回の監査では、該当するものは認められなかった。

イ 意見

(ア) 保育料について

あ 保育所保育料の収入状況は、次のとおりである。

(単位：円・%)

区分		調定額	収入済額	収入未済額	収入率
現年度分	市立	19,950,520	19,606,920	343,600	98.3
	私立	22,319,390	21,596,680	722,710	96.8
過年度分	市立	677,860	93,860	584,000	13.8
	私立	882,260	229,500	652,760	26.0
合計		43,830,030	41,526,960	2,303,070	94.7

・過年度分の私立保育所保育料は、平成26年度以前の公立分も含んでいる。

い 幼稚園保育料の収入状況は、次のとおりである。

(単位：円・％)

区 分		調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率
現年度分	保育料	0	0	0	-
	預かり	348,200	344,000	4,200	98.8
過年度分	保育料	126,500	0	126,500	0.0
	預かり	28,900	0	28,900	0.0
合 計		503,600	344,000	159,600	68.3

保育料の滞納対策として、納付書送付時に口座振替の推奨を促すとともに、文書、電話及び面談による納付指導を行い、預かり保育の保育料の未納者については、預かり保育の利用を停止するなど、滞納者の発生防止に努められている。一方で、過年度分については園児の卒園による納付意識の希薄化や、転出などにより保護者との接点がなくなること、納付指導も困難であると推察されることから、利用者負担の公平性の確保に留意しつつ、早期の納付指導に努め、滞納が発生しにくい体制づくりを図られたい。

(イ) ICT 導入事業について

園務改善システムを園児の教育、保護者との連絡ツール及び教職員の書類作成事務の電子化に活用するため、Wi-Fi の環境整備等を行い、教職員の機器の操作研修の実施が予定されているところである。近年、他市において通園バスの置き去り等の事件が発生していることから、システムを適正に利用して保護者と出欠確認の連絡を取り合うことで園児の安全安心を確保するとともに、教職員の事務の負担軽減を図ることで働き方改革を進められるよう、令和 5 年度の本格稼働に向けた準備に努められたい。

なお、市営保育園については、令和 4 年度に玖須美保育園にて ICT を導入しており、他の 3 園は令和 5 年度に拡張していくとのことであるが、園児の安全安心の確保を第一とする中で、保育業務の効率化及び保育環境の改善に向け、全園の円滑な導入を望むものである。

(ウ) 幼稚園給食の推進について

市立幼稚園において、令和 4 年 10 月から週 2 日デリバリー給食として弁当の提供を開始したことで、多くの保護者が利用し、保護者の負担軽減及び園児

の食育推進が図られている。今後もデリバリー給食を継続する中で、学校給食と同様の運営に向けた準備、検討を進めていくとのことであるが、給食の実施及び預かり保育の拡大など幼児教育の拡充を図り、保護者の選択肢を増やすことで幼稚園利用者の増加につながるよう努められたい。

農業委員会事務局

(1) 予算執行状況について

ア 歳入

(単位：円・%)

会 計	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					対予算	対調定
一 般 会 計	3,588,000	235,100	235,100	0	6.6	100.0

イ 歳出

(単位：円・%)

会 計		予算現額	支出済額	予算残額	執行率
一 般 会 計	現 年 度 A	10,617,000	4,803,052	5,813,948	45.2
	繰越明許B	124,000	123,992	8	100.0
	A + B	10,741,000	4,927,044	5,813,956	45.9

(2) 監査所見

ア 指摘及び指示事項

今回の監査では、該当するものは認められなかった。

イ 意見

なし

3 書類監査のみ実施した個々に関する事項

(第2回)

監査所見

今回の監査では、指摘及び指示事項に該当するものは認められなかった。

(第3回)

監査所見

今回の監査では、指摘及び指示事項に該当するものは認められなかった。

以 上